

## 令和3年度ジャパンリンクセンター運営計画

令和3年3月4日

ジャパンリンクセンター運営委員会

### 1. 委員会、メンバーミーティングの実施

#### (1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を4回開催し、JaLCの運営方針を議論する。

#### (2) メンバーミーティング

メンバーミーティングを開催する。令和3年度は、会員からのニーズの把握をできる機会を引き続き設けることとする。

### 2. サービスの開発、運用および管理

#### (1) サービスの開発

令和3年度は、令和2年度に開発を行った以下機能についてリリースする。

- ・ 情報提供機能の拡充 (JaLC コンテンツ検索)

また、JaLC ストラテジーを実現するための取り組みとして、次の開発を行う。

- ・ JaLC 登録スキーマの拡張 (Grant ID、ROR 等)

JaLC の DOI 登録インタフェースについて、国際的な PID として認知されつつある Grant ID (助成 ID) や ROR (機関 ID) の登録を行えるように改修を行う。この改修により、JaLC が保有する国内学術情報コンテンツへのアクセス数が増加し国際発信力が強化されることが期待される。

- ・ 情報提供機能の拡充 (REST API)

情報提供機能として、現在提供している OAI-PMH に加え、REST API を開発する。この開発により、提供される JaLC メタデータが拡充されるとともに情報提供機能の利便性が向上し、国内学術情報の国際流通促進が期待される。

さらに、令和2年度に引き続き、令和元年度に実施した調査結果に基づいたデータクレンジングを行うとともに、新たに確認されたデータ不備の調査を行うことで、JaLC が保有するデータの品質、精度向上を図る。

(2) 運用

システム運用、サービス運用業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施する。

(3) 規約整理

メタデータのオープン化に伴い、会員や連携機関にかかる規約・制度の再整理を行う。

### 3. DOI 登録機関業務

(1) 正会員

過年度に引き続き、正会員の入会対応を行う。具体的には、入会手続き説明、入会審査事務、DOI prefix の払い出し、システムの初期設定、データ初期登録方法の指導などである。また、第三者への抄録提供開始へ向けて抄録登録及び抄録ライセンスフラグの許諾設定促進を行う。

(2) 準会員

正会員を通じて、準会員に対する DOI prefix の払い出しに係る事務を行う。また、準会員を持つ正会員と協働して、準会員の増加も図る。

(3) 入会説明会の開催

入会の問い合わせの都度説明会を開催する。

### 4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務

(1) 「研究データ利活用協議会」

「研究データ利活用協議会」の活動は6年目となる。今年度も過年度に引き続きイベント開催などによるコミュニティ醸成を図る。また、小委員会活動、部会活動の支援を継続する。さらにオープンサイエンス関係のイベントである「ジャパンオープンサイエンスサミット (JOSS)」へ引き続き協力機関として参加する。

(2) JaLC イベント

「対話・共創の場」について、より有意義な対話・議論が行える場として活用すべく今後の開催イベントの目的・開催方法について新たに検討する。

(3) 「ストラテジーの実現に向けて」

ストラテジーの実現に向けて、必要な予算の獲得に努める。また、Open Citations、CHORUS、Unpaywall、Event Data (Crossref) 等とのメタデータ連携を検討する。さらに、

ROR や Grant ID、e-Rad、researchmap 等の他 ID サービスについて具体的な連携方法を検討する。その他、DOI 登録対象コンテンツの拡大やメタデータ連携の促進、他の識別子との連携に向けた調査等を行う。

また、次期 5 カ年に向けたストラテジー策定について検討する。

(4) 国際機関との関わり

DOI 登録機関として DOI 財団の活動に関わる。また、Crossref、DataCite 等の DOI 登録機関 (RA) や、ORCID などの他 PID 組織との連携強化を図る。さらに、得られた情報等については会員向けにメルマガ等を通じて積極的に発信していく。アジアの RA との連携施策も模索する。

— 以 上 —